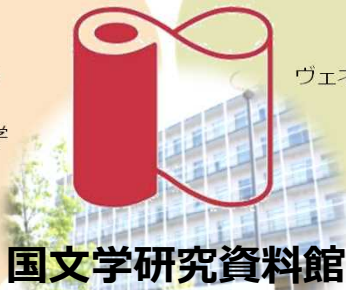


# プロジェクトの実施体制

画像データ作成

歴史的典籍を使う  
研究者グループ



その他11拠点  
拠点以外の大学

その他の大学等

歴史的典籍データベースを通して共同研究

歴史的典籍データベースを通して共同研究

連携

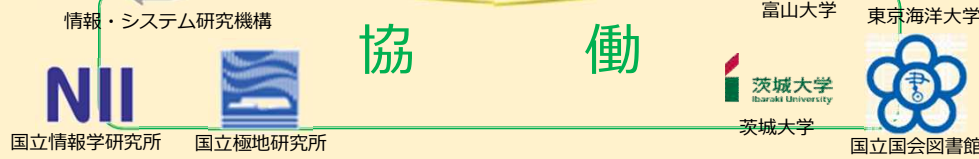
連携



情報系の研究者

歴史的典籍データベースを通して共同研究

さまざまな分野の研究者



協働

分野別画像作成に連動し、さまざまな機関が参画

# 歴史的典籍NW事業の目標と現在

■ 期間: 2014-**2023**

■ Goals:

**(1) 30万点の画像データの作成** TIFF保存/JPEG公開

⇒あらゆる分野の古典籍の全冊画像をWeb公開

(研究の基盤構築 = 新日本古典籍総合DB)

現状：95,000点を本年度末に公開

(約1,250万コマ以上の画像)

・書誌データ：約60万点以上

・Tag付与数：約30万タグ

(2) 国際共同研究ネットワークの構築

国の目指す方向！

(3) 国際共同研究の推進 異分野融合研究・総合書物学など

# 画像DB 新日本古典籍総合データベース

唯一の日本古典籍ポータルサイト

<http://kotenseki.nijl.ac.jp>

キーワードを入れて検索

Top Page

検索 詳細検索

書誌から探す ○ 画像タグから探す(全てのタグ) ○ 全文から探す(収録書誌)

3つの視点から検索

- ① 書誌検索
- ② 画像タグ
- ③ テキスト

1ヶ月あたり30万ページビュー  
(目録DBと併せて)

新日本古典籍総合データベース (試験公開)

光源氏一ふの哥/ならびにこと葉 (ひかりけんじいちふのうた/ならびにことば)

### Viewer

拡大縮小  
上下左右の移動

ダウンロードボタン

URI: <https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/200007738/viewer/1>

Manifest URI: <https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/200007738/manifest>

## 「能役者」でのタグ検索例

Tag Search

研究コミュニティの協力  
タグへの指針：高度専門員制度  
撮影典籍の提供

# 国文研：研究資源公開にあたっての《考え方》

## ①だれでも自由に 無料で・登録なしで

一部の特権的な存在しかみることができない

…学問の衰退に繋がる **秘蔵・秘匿は死蔵！**

## ②利用手続きの明確化（論文引用・出版）



**可能な限り自由に利用へ**

**クリエイティブコモンズ表示**

今後表示機関増加へ


CCライセンス…作品を公開するものが「この条件を守れば自由に使って構わない。」という意思表示をするツール。

**所蔵機関への許諾申請なしに一定の条件下で自由に使える**

# 使いやすければ誰でも使ってくれる

## 具体例



鳩車に傘が配される。鳩車は、張り子や子ども遊びの玩具を描いたものだろう。(万享  
国文学研究資料館所蔵 



## 三越伊勢丹イベント



## 婦人画報2018年1月号「かわいい琳派 ステンシル」

# 国文研：研究資源公開にあたっての《考え方》

③いつみても確認可能 リンク切れなし

**結果の安定性**：研究データとして**DOI付与**

Digital Object Identifier = DOI 研究データ保有機関のみ可能

⇒そうでなければ研究基盤とは言えない！ **論文などへ引用推進**・人文科学を「検証可能」に



④**ストレスフリー**なビューワ



International Image Interoperability Framework

現状：CC表示と一対で進める予定

画像共有の新標準IIF

世界中のどこのデジタルアーカイブでも、**自分に適したビューワで表示可能**



**manifest file**を活用することでIIF対応の画像を読み込める  
**海外の図書館等の資料も表示可能**

世界からも検索（繋がるデータベースへ）

**CiNii** 大学図書館の  
本をさがす  
Books

連携

JapanKnowledge

**海外の大学等からの強い要望を実現！**

# 古典の利活用を仕掛けていく オープンデータという形での資料公開

## 古典籍データ 誰でも



国文研、源氏物語など御点ネットに

日本の古典籍を広く活用してもらおうと、国文学研究資料館（東京都立川市）が所蔵資料の画像データなどをネット上で公開する取り組みを始めた。第1弾として11月に源氏物語や十六夜日記など500点の画像を公開。誰でもダウンロードできるように、新たな研究呼び込む。古典籍は主に江戸時代以前に書写されたり印刷された「画本虫撰」の画像データ

たりしたもので、同資料館では約1万6千点を所蔵。国立情報学研究所（東京都千代田区）の協力で、同資料館初の公開が実現した。11月10日に350点の全冊の画像データや、検索しやすい書誌データを公開。源氏物語や二十一代集など著名な5点も読みやすい活字に直したテキストデータを掲載した。江戸時代の喜多川歌麿の狂歌絵本「画本虫撰」▽料理本「豆腐百珍」など和食に関するもの▽「紙漉重宝記」など和紙に関するもの▽日本に現存する最古の医学書とされる「医心方」など医学関係する予定。（宮坂麻子）

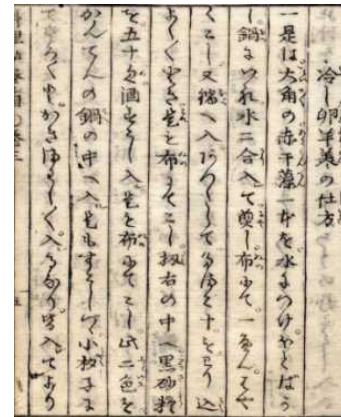
## 3つのオープンデータセット (CODHとの連携)

<http://codh.rois.ac.jp/>

## 研究者のためのオープン： 日本古典籍データ3300点

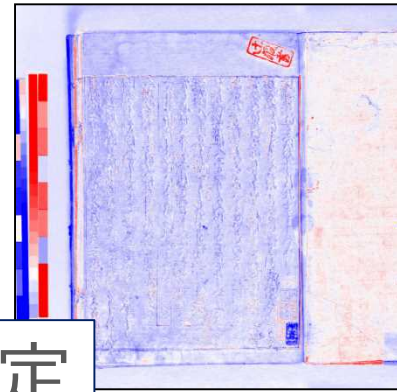
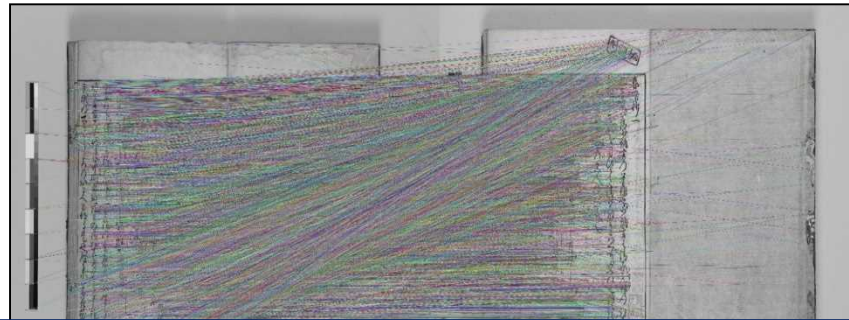
## 機械のためのオープン： 日本古典籍くずし字データ 年度末には70万字形公開

## 市民のためのオープン： 江戸料理レシピデータ





# オープン・ビッグでうまれる新たな研究手法



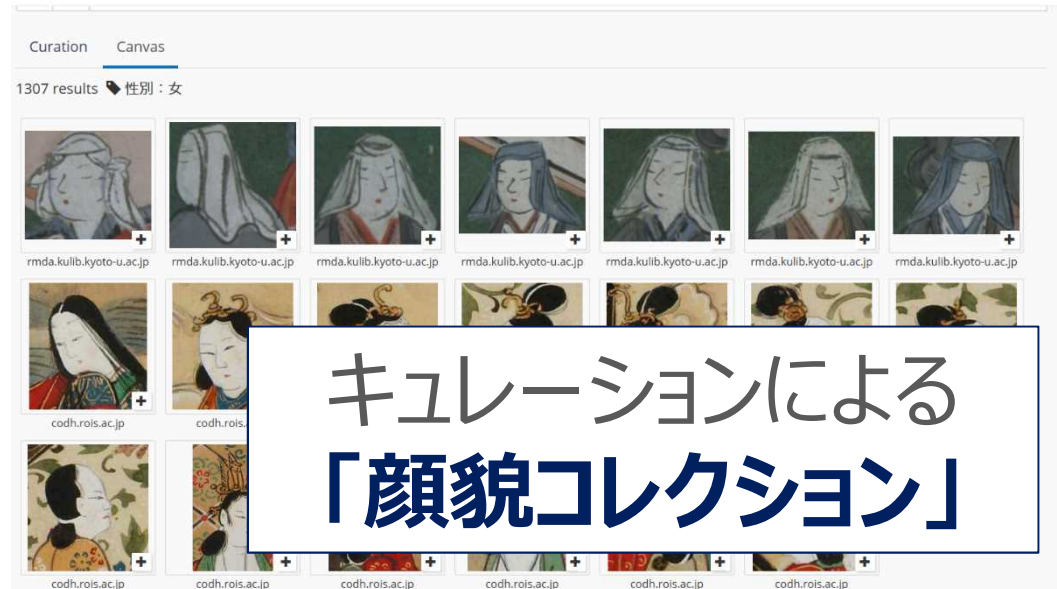
版・刷の分析：本文異同の半自動判定

日本語 / English List

## デジタル人文学

一例 フランコ・モレッティ

細部ではなく作品全体、さらには特定の作品群を俯瞰する遠読（ディスタント・リーディング）を提唱



キュレーションによる「顔貌コレクション」

こうした研究手法を創造する上でオープン化が重要

# 多様な古典籍 データとして使わない手はない!

(古典籍を) 読める**人文研究者**×読めない**理系研究者等** とのコラボ  
**異分野融合研究** 国立極地研究所との共同研究

## 【研究成果】



AGU PUBLICATIONS  
 Space Weather  
 RESEARCH ARTICLE  
 10.1002/2016SW001493

Hisauri Ryuhiko Akito Tsunoda

**国際学会誌「スペースウエザー」に論文が採択!**

Key Points:  
 • The earliest known example of prolonged aurora sightings in Japan was documented on 21–23 February 1204.  
 • Majority of the prolonged aurora activity events in China (900–1200) occurred around solar minimum than solar maxima.  
 • The prolonged aurora activity did not occur during the Minimum (1010–1050).

National Institute of Polar Research, Tokyo, Japan, <sup>2</sup>Department of Polar Science, SOKENDAI, Tokyo, Japan, <sup>3</sup>Graduate School for Advanced Integrated Studies for Human Sustainability, Kyoto University, Kyoto, Japan, <sup>4</sup>Unit of Synergetic

## 定家、京都でオーロラ見た



2017年4月12日  
 朝日新聞夕刊10面

平安・鎌倉期の歌人、藤原定家が書き残した日記に、2004年2月21日、京都でオーロラが見え、「山の向こうに赤い火事のように重なるおそろし」と書かれている。また、国内の別の文献「御室相承記」にも2月21日から3

1204年の明月記「赤気火事のように」

極地研など説明 国内最古

## 典籍防災学の醸成へ

“観測史上最大の磁気嵐。江戸時代 京都でオーロラ”  
 国立極地研究所

2017年9月24日  
 NHKニュース

国立極地研究所・国文学研究資料館などのグループ  
 東丸神社(京都 伏見区)に保存  
 文献に詳しい記載 見つける

## 【社会貢献活動】 シチズンサイエンスへ 市民参加型文理融合ワークショップ開催



文理融合のワークショップ

むずかしいタイトルですが、とても面白い試みでした。立川にある研究機関、国文学研究資料館と極地研究所、それに総合大学院大学がひとつになって「何か」をする。研究機関が立川に移転してきて初めての文理融合企画です。何をしたら簡単と言えば、古典の書物からオーロラの記述を探し出しましょうということです。事前申込された方には若い方も多く、古典が好きな方、オーロラが好きな方、さまざまでした。国文研では2年前から文部科学省の大規模学術フロンティア促進事業「日本語の歴史典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」を進めています。その古典籍共同研究事業センターの副センター長である山本和明先生とオーロラの専門家である極地研究所の片岡龍峰准教授を中心にワークショップが行われ、「吾妻鏡」や「玉葉」など8つのご記録の中にあるオーロラを意味するキーワード「赤気」「白気」「赤雲」「白虹」などを探しました。みなさん静かに作業し、結果今まで偉い先生でも見つけていない発見がありました。市民参加型の取組に、次回のみなさんも参加されてみてはいかがでしょうか。

古典オーロラハンター  
 IN 京都  
 2018.11.18 sun  
 13:30~16:30  
 1300 実行費

市民参加型ワークショップ  
 京都大学附属図書館3F  
 ライブラリホール  
 定員 28名  
 参加費 無料

2018年 3.13 (日)  
 10:00~12:00

ツール「くずし字、いろいろ」  
 くずし字データ活用：10万アクセス



# 典籍から復元 江戸料理へのまなざし CODHほかとの共同

公益財団法人 味の素の文化センター

Facebook 検索

図書館 研究助成 イベント 出版 アーカイブ 食の文化センター

江戸の図書 (古典籍)

**味の素の文化センター  
食関係画像300点公開**

閲覧人数 1,338人

ONLY MI

三越本店 食品フロア 秋のオンリー・エムアイ

江戸ご飯に 食の新しさを探す

**三越伊勢丹とのコラボ  
[料理復元販売]**

2017年9月20日～2週間

クックパッド サービス一覧 注目! みんなのダイエット体験談

毎日の料理を楽しみに **cookpad** 257万 レシピ

料理名・食材名

バレンタイン ティラミス ダイエット トースト

**江戸料理データセット  
クックパッドとのコラボ**

クックパッド江戸ご飯 のキッチン

フォローする 1,338人

楽しい 古典籍

中学生・高校生向け  
講演会・展示会

江戸料理本の世界

**国際子ども図書館で  
中高生向け江戸料理本講座**

【講演会】

8月2日(木) 14時～16時

山本和明先生

【展示会】

7月24日(土) 10時～16時

国際子ども図書館

**古典籍が身近な存在へ  
社会と繋がる古典籍へ**

# 日本文学分野における今後の課題

- ・テキスト化の問題（機械可読）
- ・OCR化が進んだ欧米・中国との研究方法の違い
- ・画像データの保管維持 TIFFの保管
- ・誰が撮影するのか ただし  
思いもかけない書物へのアプローチが、可能となった

## むしろ研究論文のデジタル化の問題

学協会では積極的にデジタル化が進んでいる

- ・日本文学（人文学）では、近年の論文だけではなく古い論文にも価値がある（だれが遡及してデジタル化するのか）
- ・論文中の引用画像が証拠であるのに、デジタル化に伴うマスキングの問題
- ・近年のデジタル化（J-STAGE）による各図書館での雑誌廃棄の問題

# 日本文学分野における今後の課題

- ・海外との古典籍NWをいかに進展させるか
- ・多言語化      ローマ字化      単語の切れ目

National Institute of Japanese Literature > Database >

## Directory of Overseas Collections of Old and Rare Japanese Books, Other Print Materials and Manuscripts

在外日本古典籍所蔵機関ディレクトリ

[About this Directory](#)   [Directory List Table](#)   [Directory Data](#)   [日本語ページ](#)

### About this Directory

This directory provides information on libraries and museums outside of Japan that hold old and rare Japanese materials, including manuscripts, printed books, and single sheet items, such as maps and ukiyoe prints. It consists of the institution's address, name of contact person, collection size, collection description, viewing/reproduction policy, availability of online and print catalogs, and other relevant information. The directory was compiled by the Subcommittee on Japanese Asian Libraries (CEAL), based on the cooperation of relevant organizations and holding institutions in Europe and the United States.

In the past years this directory was updated for users' convenience and the need for the National Institute of Japanese Literature (NIJL) maintain the directory available from its website in 2011. NIJL is responsible for the accuracy of their materials and NIJL agreed to collaborate with CEAL to offer more information in English, with the support of the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology.

As we have tallied up known holdings of Japanese books and pictorial materials in collections outside of Japan, other copies can be located in Japan. NIJL and Japanese materials held by institutions outside of Japan also been working on identification of Japanese materials. NACSIS-CAT, and NIJL's Union Catalogue environment involving these materials. NIJL is also working on overseas collections of old and rare Japanese materials to stimulate use among international researchers.

UNIVERSITY OF CAMBRIDGE   Study at Cambridge   About the University   Research at Cambridge   Quick links

University Library / Cambridge Digital Library / Browse our collections

## Cambridge Digital Library


Search

Home   Browse   Search   My Library   About   Help

### Browse our collections

#### Japanese Works

“Pleasure is when you understand all by yourself a book that people find impenetrable”  
— Tachibana Akemi, (1812-1868)



Kyūryū Kyōgenbon (FJ.709.1)   ... more

Kyūryū Kyōgenbon (FJ.709.2)

Kyūryū Kyōgenbon (FJ.709.3)



## The World of the Japanese Illustrated Book

The Gerard P. Folger Collection

Privacy   Terms of Use   Smithsonian